



ニュース

第17号

2010年8月25日発行
 トップス広島 事務局
 〒733-0036
 広島市西区観音新町4-10-2
 広島西飛行場ターミナルビル1F
 TEL: 082-233-3233 FAX: 082-233-3251
 URL: www.tops-h.net

* 加盟団体 *

- ・ NTT西日本広島 ソフトテニスクラブ
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダース
- ・ 湧永製菓
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島東洋カープ

ニュース

中国ミニ国体

「今 房総の風となり この一瞬に輝きを」をスローガンに9月25日から10月6日まで千葉県内で開かれる“ゆめ半島 千葉国体”への出場権をかけた中国ブロック大会が20日から3日間、鳥取県内で開かれた。トップス広島加盟の5競技・6チームが参加したが、バドミントンの広島ガスは3位となり、出場権を逃がした。



貫禄見せつける

【成年男子】
 ▽1回戦 51-1 島根▽準決勝 32-18 山口▽決勝 43-19 岡山



危なげなく全勝

【成年女子】
 ▽リーグ戦 34-18 岡山、60-7 島根、26-12 山口、48-11 鳥取▽順位 ①4勝



ストレート勝ち

【成年男子】
 ▽1回戦 3-0 鳥取▽準決勝 3-0 島根▽決勝 3-0 山口



1失点の快進撃

【成年女子】
 ▽準決勝 4-0 岡山▽決勝 3-1 島根



男女そろって…

【成年男子】
 ▽リーグ戦 1-2 山口、3-0 鳥取、3-0 岡山、3-0 島根▽順位 ①3勝1敗
 【成年女子】
 ▽リーグ戦 3-0 島根、3-0 鳥取、1-2 山口、2-1 岡山▽順位 ②3勝1敗



悔しい3位

【成年女子】
 ▽リーグ戦 2-1 山口、1-2 島根、2-1 岡山、1-2 鳥取▽順位 ③2勝2敗

トップス・アスリート 千葉へ向け躍動

日本代表選出相次ぐ



中国アジア大会

男子 中堀・高川
 女子 佐々木・大庭

11月に中国・広州で開かれるアジア大会のソフトテニス日本代表が発表され、NTT西日本広島から4人が選ばれた。

男子では5大会連続の高川、4大会連続の中堀、女子は佐々木と大庭で、ともに初出場となる。

9月から広島などで合宿を行い、本番に備える予定だ。

なお、女子の監督にはNTT西日本広島で総監督でもある中本裕二氏が務めることになった。

広島代表としての活躍に大きな期待が寄せられている。

中堀



高川



佐々木



大庭



女子ワールドカップ



駒澤



小野



吉川

ホッケーの女子ワールドカップは、9月2日アルゼンチンで開幕する。

3大会連続出場の日本代表にコカ・コーラウエストからMF駒澤、DF小野、GK吉川の3人が選出された。代表主将の駒澤は「世界の強豪に果敢に戦う」と決意を披露した。

大会は12カ国が2組に分かれて1次リーグを行い2位までが準決勝進出。日本は豪州、独、NZ、オランダと同じA組。



MF 駒澤 DF 小野 GK 吉川



悲願達成へ 強力後押し

RCCテレビ
ドキュメンタリー制作

V4へチャレンジ

サマーリーグ決勝L

バレーボールの2010 V・サマーリーグ決勝リーグは9月11、12日、愛知県春日井市総合体育館で1次リーグを突破した4チームで争われる。3連覇中のJTは久保新監督の新体制でV4へチャレンジする。

初戦が1次リーグで苦杯をなめた警視庁。次いでつくばユナイテッド、最後にFC東京と対戦する。Vリーグ前哨戦としての戦いが注目される。



プレミアリーグ悲願の初優勝へ新体制でスタートしたJTをRCCテレビがドキュメンタリー番組で強力バックアップする。(写真)

久保新監督が就任したJTを5月から密着。トップスバレー学校1期生のルーキー寛本を含め練習ぶりや日ごろの生活、さらには9月の北海道・芦別合宿などをカメラが追い、強化への取り組みを伝える。放送は12月を予定している。

中国電力 陸上競技部

★第11回 ひろしまクロスカントリー大会(8/21)(8km) 優勝 伊達2分13秒、2位 佐藤、3位 岡本。10位までに8人が入り上位を独占した。

- 《Jリーグ 成績》
- ※第14節
 - 1 (0-0、1-0) 0浦和
 - ※第15節
 - ▽1 (0-1、1-0) 1仙台
 - ※第16節
 - 3 (0-0、3-0) 0京都
 - ※第17節
 - 0 (0-2、0-0) 2G大阪
 - ※第18節
 - 0 (0-0、0-2) 2川崎F
 - ※第19節
 - 1 (1-2、0-0) 2大宮
 - ※第20節
 - 2 (0-0、2-0) 0F東京

真夏の戦いし烈

Jリーグは後半戦に入った。サンフレッチェは第20節を終えて8勝5分け7敗、勝ち星が一つ先行している。猛暑が続く中でのハードスケジュール。運動量が落ちたG大阪戦から3連敗を喫したが、F東京戦は服部、佐藤のゴールで快勝した。現在、9位につけているが、まだまだし烈な戦いが続く。上位進出を狙う正念場を迎えている。9月からはナビスコ杯も加わり、1日にビッグアーチにG大阪を迎え、準々決勝第1戦がある。

正念場

《Jリーグ勝敗表》第20節終了現在

試	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
①名古屋20	13	2	5	41	33	24	11
②C大阪20	10	6	4	36	33	18	15
③鹿島20	10	6	4	36	33	20	13
④清水20	10	6	4	36	40	29	11
⑤川崎F20	10	5	5	35	34	26	8
⑥新潟20	9	7	4	34	30	22	8
⑦G大阪20	8	7	5	31	36	28	8
⑧横浜FM20	9	4	7	31	25	22	3
⑨広島20	8	5	7	29	23	24	-1
⑩山形20	8	4	8	28	17	23	-6
⑪浦和20	8	3	9	27	30	25	5
⑫磐田20	6	6	8	24	22	28	-6
⑬大宮20	5	6	9	21	17	23	-6
⑭F東京20	4	8	8	20	21	25	-4
⑮神戸20	5	5	10	20	21	29	-8
⑯仙台20	4	6	10	18	24	32	-8
⑰湘南20	3	5	12	14	21	41	-20
⑱京都20	2	5	13	11	18	39	-21

佐々木・大庭3位 西日本ソフト選手権

ソフトテニス西日本選手権は7月17、18日に神戸総合運動公園などで開かれ、女子の佐々木・大庭が3位になった。男子は堀・長江、中堀・高川がベスト8、館越・原はベスト16で姿を消した。

ソフトテニスの全日本実業団選手権は7月24、25日、宇部市中央公園コートで開かれた。

NTT西日本広島は男子(堀、長江、水澤、原、中堀、高川、館越、岩崎)が優勝を飾った。

女子(埜田、水間、佐々木、大庭、三好、山本)は準々決勝で敗

男子が頂点 全日本実業団

呉成玉 復帰 巻き返しへ光

メイプルレッズの黄金期に林五卿前監督とチームを支えた呉成玉が4年ぶり復帰した=写真。
「まだ身体が完全ではないが徐々によくなっている。3年間逃がしている日本リーグプレーオフ出場へ手助けをしたい」ときっぱり。世界を知り尽くしているベテランが、巻き返しに全力を挙げる。ちなみにリーグ得点ランクは歴代3位の677得点。

オールスター戦 マエケンがベストピッチャー賞



プロ野球オールスター戦(7月23、24日・ヤフードーム、ハードオフ新潟)で初出場の前田健が第1戦に先発、2回を無安打1奪三振、6人で片づけ、ベストピッチャー賞に輝いた。また東出も第1戦に途中出場、7回に中前タイムリーを放ち、貴重な追加点をたたき出した。広瀬は無安打に終わった。フレッシュオールスター(22日・長崎県野球場)では甲子園を沸かせた堂林が本塁打、今村は2回1失点。岩本、武内も出場した。

ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを意味しています。

後藤 3連覇

中国総合選手権

複は早川・橋本「完全」

バドミントン中国地区総合選手権は8月6日から3



日間、岡山市総合文化体育館で開かれ、広島ガスはシングルス、ダブルスとも優勝した。

シングルスを制した後藤は3年連続(3度目)と連勝記録を更新した。ダブルスは早川・橋本が4試合を戦い1セットも落とさない「完全」で初優勝を飾った

《中国総合選手権 成績》

【シングルス】1回戦 井上2-0井上(岡山)▽2回戦 後藤2-0小柳(島根)前田2-0濱田(山口)井上0-2安念(山口)橋本2-0子川(岡山)武田2-0末長(山口)本山2-1井田(鳥取)▽3回戦 後藤2-0地神(鳥取)前田1-2吉岡(島根)橋本2-0新藤(島根)武田0-2丸岡(島根)本山0-2皆川(山口)▽準々決勝 後藤2-1吉岡(島根)橋本2-1安念(山口)▽準決勝 後藤(不戦勝)橋本▽3位決定戦 橋本(棄権)丸岡(島根)▽決勝 後藤2-0宮崎(鳥取)
【ダブルス】2回戦 早川・橋本2-0藤井・福井(鳥取)井上・前田2-0井手・高橋(岡山)後藤・本山2-0山下・川邊(岡山)▽3回戦 早川・橋本2-0新谷・尾上(山口)井上・前田0-2地神・田中(鳥取)後藤・本山0-2吉岡・新藤(島根)▽準々決勝 早川・橋本2-0丸岡・山本(島根)▽準決勝 早川・橋本2-0地神・田中(鳥取)▽決勝 早川・橋本2-0藤原・宮崎(鳥取)



地元初戦18日

地元初戦19日

ハンドボールの日本リーグは9月4日に開幕する。男子は8チームが2回戦総当たり、女子は6チームが3回戦総当たりでレギュラーシーズンを戦い、男子は4位まで、女子は3位までがプレーオフに進出する。
広島勢は湧永製薬が12シーズン、メイプルレッズは5シーズン優勝から遠去かっており、いずれも巻き返しを図る。今シーズンのシーズンインとなった全日本実業団選手権では、湧永製薬が4位、メイプルレッズが5位。どこまで戦力アップしているかがカギとなりそう。
なお、女子は世界選手権などのため11月から3カ月間中断する。

ハンドリーグ 4日開幕

《日本リーグ 広島開催日程》

月日	対戦カード	開始時間	会場
9・18	湧永製薬 vs トヨタ車体	14:00	湧永記念
19	メイプル vs 三重	14:00	東区SC
25	メイプル vs ソニー	14:00	東区SC
10・16	メイプル vs 名古屋	14:00	東区SC
17	湧永製薬 vs 豊田合成	14:00	湧永記念
12・4	湧永製薬 vs 大同特殊鋼	14:00	中区SC
11	湧永製薬 vs トヨタ紡織	15:00	中区SC
2011年			
2・5	メイプル vs 北国銀行	14:00	中区SC
11	メイプル vs オムロン	13:00	東区SC
	湧永製薬 vs 北陸電力	15:00	東区SC
26	メイプル vs ソニー	14:00	東区SC

(注) 湧永記念は湧永満之記念体育館

